



第85回 院内コンサート

♪ ♪ ♫ 演奏者プロフィール

箏:高橋 てるみ さん 第65回 平成29年11月ご出演

NHK邦楽技能者育成会48期修了。
箏・三絃を小野正志、高橋洋子に師事。
第9回長江杯国際音楽コンクール奨励賞受賞、
新・みなとみらいACFアマチュア室内楽フェスティバル出演。
NHK 邦楽オーディション合格、NHKFM「邦楽のひととき」出演。
「箏の音で人の心を豊かに穏やかにしたい」
を信念に自主企画コンサートを開催。
創明音楽会大師範
星野学園小学校特別活動(箏曲授業)講師
ヤマノミュージックサロン銀座 箏コース講師
逗子三曲会 鎌倉芸能連盟 横浜市民広間
演奏会 横浜音楽文化協会 各会員



プログラム : 宮城道雄特集

ロンドンの夜の雨

手事

蟲の歌

十七絃独奏 スペイン風即興曲 吉崎克彦

日時 : 令和元年7月20日(土) 13時30分~

場所 : 亀田病院 新館待合ホール

協力 : 横浜音楽文化協会

第85回 院内コンサート

プログラムと曲目解説

宮城道雄特集をお届けいたします。

1. ロンドンの夜の雨

ある夜、一晩中降り続いたことがあって、その音がいかにも印象的だった。高い建物から伝わって落ちる雫を、銀色の珠のように想像した。濡れた大地を走る車の音にも情緒を感じた。私は、昔から数多く出た英国の詩人のことなどをよもすから想像しながら作曲した。 （作曲者）

2. 手事

第1楽章 「手事」

昔から伝わった手事を取り入れて形式的な作曲を試みたもの。

第2楽章 「組歌風」

一唄ごとに62拍子と拍子数の定まった組歌形式を取り入れて静かな感じを表したもの。

第3楽章 「輪舌」

輪舌の形式を試みた速い感じの曲。

3. 蟲の歌

この曲は蟲のすだくさまを取り入れた箏独奏曲で、最初こほろぎにはじまり、かねたたき、うまおい、鈴虫などを表し、終わりの段は松虫とくつわ虫の掛け合いというような感じで、曲全体としては小曲の気持ちに作ったものである。 （作曲者）

4. 十七絃独奏 スペイン風即興曲

吉崎克彦

十七絃は、大正10年、宮城道雄が考案した絃の数が17本の箏で、低音楽器として演奏される。宮城曲では合奏の中でよく使われ、自身が作曲した独奏曲はなく、現代の作曲家が多く作曲をしている。